

Olive News

オリーブ 便り

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

医療技術部の設置について

香川大学医学部附属病院 医療技術部長 門田 敏秀

10月1日から、あらたに『医療技術部』が発足しました。多職種間の連携を強化し診療・教育・研修を効率的に行うことで、病院全体の診療や運営に貢献することを目的に設立され、当院では9部門10職種のメディカルスタッフ、約140名が所属します。国立大学病院では20年ほど前から設置され始め、現在では全国の半数が医療技術部を設置しています。今まで以上により良い医療技術を提供できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいく所存です。引き続き、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

医療技術部の理念

患者さんにとって安全で
最良な医療技術を提供するとともに、
最新の技術を提供するための研鑽を積み、
チーム医療の一員としての
職務・職責を果たす。

部門長からご挨拶

門田 敏秀

医療技術部長 / 放射線部門長 (診療放射線技師長)

放射線部門には、診療放射線技師34名が所属しています。医療技術部となり他職種との連携を強めることで、より良い放射線検査・放射線治療を提供できるよう努めます。

木内 洋之

検査部門長 (臨床検査技師長)

検査部門は、検査部28名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科1名の総勢29名の臨床検査技師が所属します。ISO15189認証を受けた臨床検査室で、更なる良質な臨床検査を提供できるよう努めます。

北岡 陸男

臨床栄養部門長 (栄養士長)

臨床栄養部門には6名の管理栄養士が在籍しています。我々は、栄養の専門職として適切な栄養管理の提供を通し、安全・安心、また効果的な治療をサポートできるように努めて参ります。

光家 努

副医療技術部長 / 臨床工学部門長 (臨床工学技士長)

臨床工学部門は、21名の臨床工学技士が所属しています。「命を支えるエンジニア」として多職種連携をより強め、これまで以上に医療の質と医療安全の向上に貢献して参ります。

松永 徹

病理部門長 (主任臨床検査技師)

病理部門は、病理診断、細胞診断および病理解剖業務を支える技術部門です。8名の臨床検査技師が病理医、事務員とともに業務に従事しています。医療技術部の一員として専門性を高め診療・教育・研究に全力で取り組みます。

森田 美沙子

眼科部門長 (主任視能訓練士)

視能訓練士(略称:CO)は、眼科医とともに検査やロービジョンケア、訓練に携わっております。当院には8名が在籍しております。新設されました医療技術部の一員として他職種連携の強化を図るとともに、視能訓練士として眼科診療により一層寄与できるよう自己研鑽に励んでまいります。

森田 伸

副医療技術部長 / リハビリテーション部門長 (療法士長)

リハビリテーション部門は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が総勢25名所属しています(配属先:リハビリテーション部、耳鼻咽喉科・頭頸部外科)。その人らしさを支えるリハビリテーション医療の実施のため、多職種連携のもとスタッフ一丸となって取り組んで参ります。

丸山 哲夫

超音波部門長 (主任臨床検査技師)

超音波部門には、臨床検査技師3名が所属しています。「高水準な超音波診療技術を用いて、良質・安全な医療に貢献」を基本方針とし、医療技術部職員として他職種との連携を強化することで更に上を行く超音波診療を提供できるよう努めてまいります。

高國 恭子

歯科部門長 (主任歯科衛生士)

歯科部門は、歯科衛生士3名・歯科技工士1名が所属しています。医療技術部門の一員として他職種と連携し、口腔ケアを通して口腔機能の向上・改善に努め、健康回復の一助となれるよう頑張ります。

Division manager

(上段左から)

松永 徹
木内 洋之
丸山 哲夫
北岡 陸男

(下段左から)

森田 美沙子
光家 努
門田 敏秀
森田 伸
高國 恭子



研究施設としての大学病院

香川大学医学部附属病院 副病院長(研究担当)
横井 英人



この度、副病院長(研究担当)を拝命いたしました横井英人です。医学部の研究室で行われる研究の多くは基礎医学研究といって、動物実験や試験管の中での実験である一方、病院に於ける研究は、患者さんに対する実際の治療に基づく臨床研究が主となります。

臨床研究は、医薬品、医療機器、医療技術などの効果を判断するために行われる研究で、通院または入院される患者さんの一部が対象者になります。これらの研究は、新しい治療の有効性や安全性を確かめる他、今受けておられる診療をよりよい方向に進めるための判断材料を得るなど、医学医療に於いて重要な意味を持っています。また、新薬・新医療機器の承認を受けるための臨床試験、いわゆる治験の中には、現在の治療では十分な効果が得られていない患者さんの次の選択肢となる治療法があるかも知れません。当院では多くの

治験を引き受けて、新しい医療への橋渡しを担っています。このように大学の医療従事者は、研究者としての側面を持ち、最先端の医療を世の中に提供できるように、研究を日夜行っています。なお、当院で行われる臨床研究については、個人情報保護を含め、安全面、倫理面から厳正かつ慎重な審査を経て、実施されていることを申し添えます。当院の臨床研究について、ご理解ご協力をお願い致します。

「人」の育成と「信頼」の構築

香川大学医学部附属病院 副病院長(教育・広報・地域連携担当)
岡野 圭一

10月より副病院長として教育・広報・地域連携を担当させて頂く事となりました。微力ではありますが、附属病院の重要な時期であると認識し、患者さんのために共に働く皆さまの想いを胸に、未来ある後進たちにバトンを引き継いでいくために私ができる事をしっかりとやっっていこうと決意を新たにしています。

特に附属病院における卒後臨床教育・人の育成は将来に繋がる最重要事項と考えます。皆さんと共に、研修医・専攻医・メディカルスタッフたちの多様なニーズを踏まえつつ、情熱と愛情をもった教育ができる体制を整えていければと考えています。

また、広報に関しては一般向け広報誌「KUH 香大病院PAPER」の発行など斬新な取り組みが始まっています。これらをしっかりと継続させつつ、若手の意見も取り入れて新たな展開を考えていければと思っています。

地域連携は患者さんや紹介医との確かな信頼関係をつくり、附属病院経営の回復と安定化を図るための最優先の課題です。信頼は一朝一夕に得る事ができるもの



ではありませんが、一度築かれた信頼関係は何ごとにも代えがたい持続可能な基盤になると考えます。そのため地道な活動を行ってまいります。

「熱意・創意・誠意」の三つの言葉を胸に今回の任務に尽力して参りますので、皆様方にはご指導とご支援を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年度の医師臨床研修マッチング結果について

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター センター長 安田 真之

令和6年度から医師になる医学科生らが臨床研修病院を選ぶ「2023年度マッチング結果」が、10月26日に公表されました。

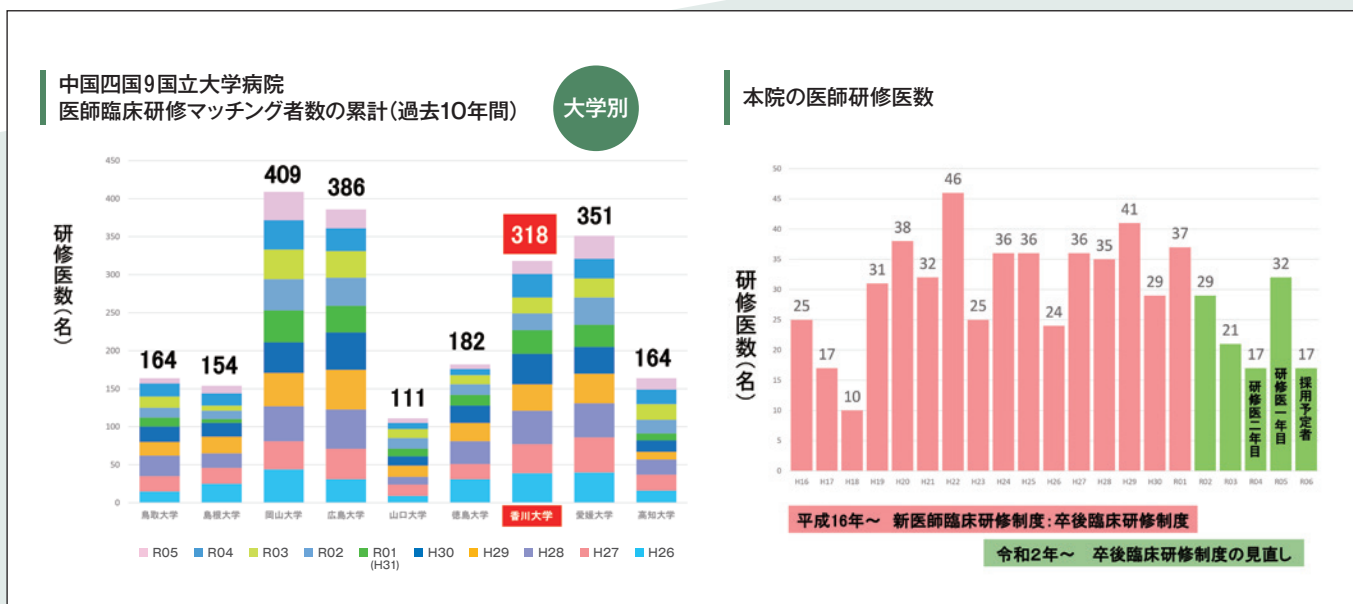
本院のマッチ者数は、MANDEGANプログラム(15名)及び小児科プログラム(2名)、あわせて計17名でした。

本院への想い・期待を抱いてくれた皆さんが、来春より本院で研修開始予定であることを大変嬉しく思います。

令和2年度から、卒後臨床研修制度が大幅に変更となりました。必修診療科での研修期間が増え、新たに外来診療・チーム医療の実践など必修項目も設定されています。また、医師だけでなく看護師等の多職種による研修医評価も必要となりました。院内スタッフの皆様には、研修医指導へのご理解とご協力をお願いいたします。

本年度のマッチング結果は、地方国立大学病院では、研修医確保が大変厳しい状況に陥っており、地域医療を担う医師教育、育成に多大な影響を及ぼすことが危惧されております。今後、多くの医学生からキャリアアップのファーストステップとして本院が選択される為に、医療の社会的ニーズの変化に対応した研修を提供することが、さらに重要となると考えています。

医学部教育センター、臨床教育研修支援部が一気通貫体制で医師養成に望むだけでなく、病院全体のムーブメントとして院内スタッフの皆様にも研修医教育に関わって頂き、研修医が医師としてのキャリアアップに夢を持てる大学病院でありつづけることが大切と考えます。引き続き研修医育成にお力添えの程よろしくお願い申し上げます。



イベントカレンダー 2023年12月～2024年2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
12/6 (水)	13:30～16:00	ホテルパールガーデン	慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策に係る保健事業担当職員等研修会	腎臓内科	(087)891-2150
12/17 (日)	14:00～16:00	かがわ国際会議場	肝臓病市民公開講座	医療支援課医療連携支援係	(087)891-2468
12/21 (木)	14:00～15:00	香大医学部 福利厚生施設棟 2階マルチスペース4	がん患者カフェ	医療支援課 がん相談支援センター	(087)891-2473
2024 1/17 (水)	14:00～15:00	香大医学部 福利厚生施設棟 2階マルチスペース4	第3回肝臓病教室	医療支援課医療連携支援係	(087)891-2468
2024 2/15 (木)	14:30～15:30	香大医学部 福利厚生施設棟 2階マルチスペース3.4	サロン「おいでまい」	医療支援課 がん相談支援センター	(087)891-2473

摂食・嚥下障害看護認定看護師 紹介

香川大学医学部附属病院 看護部 河野 景子

摂食・嚥下障害(以下、嚥下障害)とは、口から安全に飲んだり食べたりすることが難しくなる状態のことで、その原因は病気、治療・手術に伴うもの、加齢や筋力低下に伴うものなど様々です。嚥下障害は誤嚥性肺炎、窒息、低栄養、脱水などの問題を引き起こしやすくなります。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、病態を考慮して患者さんの嚥下機能を評価し、問題のリスク管理を行うと共に、安全な経口摂取を目標として患者さんおよびご家族へ指導ができる看護実践能力を有します。私は、患者さんの状態に合わせた食事形態や液体のとりみ付けの選択、食べ方の工夫や口腔ケアなどの支援をしています。

令和5年9月より、院内の嚥下障害患者さんへの支援を目的として、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、言語聴覚士、摂食・嚥下障害看護認定看護師が連携し、月に一度の嚥下ラウンドを開始しました。各部署の看護師や主治医から患者さんの情報をいただき、ベッドサイドで嚥下機能評価を



を行い、必要に応じて専門的な支援につなげます。食支援には多職種連携が大切です。私は、「口から安全に食べることを」看護の立場から支え、患者さんが病気を乗り越えるお役に立てるように、今後も活動していきたいと思います。

解剖体慰霊祭の開催について

香川大学医学部 総務課総務係

令和5年10月26日(木) 13時30分から、医学部体育館において、解剖体慰霊祭を開催いたしました。

献灯・献花・黙とうの後、西山医学部長、池田香川県知事、清水白菊会理事長、医学部学生代表による追悼の辞が述べられました。

最後に、遺族や学生等参列者約400名が献花を行い、医学教育・研究に協力され、医学の向上・発展に貢献された2,161柱の御霊に哀悼の意を表し、故人のご冥福を祈りました。



ケーブルTVで放送中

ウイキイキさめき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



- 12月のテーマ 「止めないで そのお薬!」
- 1月のテーマ 「更年期はこわくない!〜知って得する過ごし方〜」
- 2月のテーマ 最先端の医療を届ける「膵臓・胆道センター」のご紹介

編集委員会 (50音順)

岡内(外来)、金西(副病院長)、木内(検査)、小坂(薬剤)、近藤(医事・医療支援)、圖子(管理)、田中(病棟)、筒井(経営企画)、森(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)、渡邊(総務)〔委員長 門脇病院長〕

(2023年9月現在)